

次期「京都市都市計画マスタープラン（素案）」に対する市民の皆様からの御意見

- 次期「京都市都市計画マスタープラン（素案）」に対する市民の皆様からの御意見の全文を掲載しています。
- 御意見中、個人情報に関することについては、「〇〇〇」と表記しています。
- 表中右欄、「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所」の項目では、別ファイル「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」での該当するページ、該当する分類、該当する番号を記載しています（下図参照）。

「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所の見方

次期「京都市都市計画マスタープラン(素案)」に対する
市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する本市の考え方

1 全般に関すること（11件）			
	市民の皆様からの御意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
番号	1 安心・安全で魅力的な都市を造るため、1日も早い都市計画マスタープランの実現を期待している。 これからも全国に見習ってもらえる都市を作るべきである。	5	都市計画の理念の実現に向け、努めてまいります。
番号	7 前回の都市計画マスタープランのPDCAを行ってから、今回のマスタープランを作成するのが筋ではないか。 今回のマスタープランについても引き続きPDCAを行うべきである。	1	

ページ 1

分類

全部で13分類に分かれています。

- 1 全般に関すること
- 2 都市の将来像に関すること
- 3 土地利用に関すること
- 4 歩くまちに関すること
- 5 景観に関すること
- 6 防災に関すること
- 7 道路に関すること
- 8 公園・緑地に関すること
- 9 市街地整備に関すること
- 10 水・河川に関すること
- 11 その他市民の暮らしを支える施設に関すること
- 12 地域まちづくり構想に関すること
- 13 その他

- 御意見に対する本市の考え方は、別ファイル「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する本市の考え方」において記載しています。

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
1	不明	<p>マスタープラン素案を読みました。素案については特に意見はありませんが私は未来の京都について提案したい事があります。</p> <p>目新しい事ではありませんがスマートグリッドについて検討すべきと感じています。産学協同で、京都には優れた IT 等の企業が存在しています。又、新たな産業と雇用を推進する為にも市内の一部を限定して試みてみるべきでは。</p> <p>京都は市電・疏水・小学校等、先覚的な事業を成功させてきた歴史があります。保守的傾向な日本全体のなかで、京都はリードできる潜在能力を持っていると信じています</p>	3	2	9
2	中京	<p>私は4年前に京都に転勤し、縁あって現在〇〇〇で医院を開業している医師です。</p> <p>私はこの地域で仕事をしていて、南北が塩小路通～七条通、東西が烏丸通～新町通に区切られた区域が十分に活用されていないと感じています。このエリアは本当なら世界中から京都観光に来る人に、京都ならではの物産を見て買って頂ける格好のエリアであるはずですが、しかし、実際には京都タワー名店街で売られている物は中学生も見向きもしないような修学旅行用のお土産や100円ショップで、ヨドバシカメラ京都で売られている物は秋葉原でも日本橋でも買える電気製品ばかりです。</p> <p>世界一級の観光都市京都にとってもったいない状況ではないでしょうか。このエリアには真の京都の伝統と技の品々に出会えて買える京都らしいたたずまいの店があるべきだと思うのです。このエリア（特に室町通～新町通）を歩いてみると駐車場や寂れた旅館や床屋やパチンコ屋などが脈絡無く雑多に点在しています。七条通商店街の活気の無さも際だっています。土地の権利関係が難しい地域だとは聞いていますが、行政の力でまとめ上げて、土地を借りるなどして京都の伝法分化の集積地に生まれ変わらせてはどうかと思います。七条通の電柱も景観の価値を下げていると思います。京都観光を楽しんで帰途につく前に買って帰る思いでの品は、安っぽいお土産物よりも、本物の京都の伝統文化の香りがするものであって欲しいと思います。そうすることで、若い世代が安定した収入を得つつ伝統文化技術を継承してくれることに繋がっていけばと思います。</p>	4	3	4

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
3	下京	<p>4-1-4③オ パルスプラザ周辺や主要交差点において →パルスプラザ周辺や主要交差点付近において（追加）</p> <p>参考資料 2 参考—6 御池通南側の島津製作所を工業が中心となる地域にしていますが、北側敷地は同様にしていない理由を御教示ください。</p> <p>参考資料 2 参考—10 久世工業団地の位置は、もう少し東側</p> <p>参考資料 2 参考—12 桂イノベーション地区→桂イノベーションパーク地区（追加）</p> <p>参考資料 2 参考—13 高度集積地区→削除</p>	4	3	9
4	上京	<p>中京区（だいたい河原町四条通—河原町丸太町通から烏丸四条通から烏丸丸太町通，（もっと特に）河原町御池通から河原町四条通—烏丸御池通から烏丸四条通あたりの町家を食べ物屋業にするのは大反対である。</p> <p>本来，町家という建て物は，家族や人が住むべきもの。それを食べ物屋にするとは。そして，マンションに人々をつめ込んで人々を住せるとはけしからん。これでは，京都の町もだいなし。ビジネスはビジネスとして，もっとビルをかりるとかしてビジネスをすればよいことだと思う。それより，食べ物屋として使う町家よりも，今，高れい者やにんちしょうの人々がしせつがたりなくて，市民もこまっている状たいです。私の家も98さいのおばあちゃんがいる。ショートステーも2日ぐらいしか入れないじょうたい。食べ物屋にするよりも，町家のような家を例えばバリアフリーにしてしせつを作るとか何とか京都市長，市，府の議員，役所のスタッフの人達がみんな未来はますますこうれい者が増える一方なのに，それを考えないというのはどういうことなのでしょう？</p> <p>そういう感じのしせつやケアセンターのようなのがあれば，こうれい者の人達もにんちしょうの人達も町家という建て物ですごすしせつだと心がおちつくのではないのでしょうか？ビルとは又ちがった安心できる家のようなしせつです。それから食べ物屋さんを京都の町にこれ以上ふやすこと，コンビニ，スーパー等も含めて大反対です。これ以上ふやさないように。もっとそんなことよりも町家やマンションのテナントさん（なるべく広いテナントさん）をかりて例えばデーサービスのショートステーや老人ホームのようなものを，にんかされた私立やかいご保健できるしせつを京都市も町家の家を利用して作るべきではないのでしょうか？</p>	7 12 12	5 13 13	2 13 17

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
		<p>一度皆様でよくよくお考えになられてはいかがでしょうか？町家を食べ物屋又は服屋等のビジネスに使うのは一人の京都市民として大反対です。国や京都市、府で「町家を食べ物屋さん、服屋、くつ屋等にビジネスとして使用してはならぬ」という法律等も作るべきです。もっとしせつに試ってみてはどうでしょうか？</p> <p>それと大きなスーパーが出来たら、個人さんでビジネスをしている住人が出来ませんよ。それも、とつてもしかつ問題との声が聞かれます。よくシャッターしょうてんがいとこのものすごくふえてきているとのことです。</p> <p>やっぱりスーパーなんかよりか個人さんの店で魚や肉等を買うほうがとつても心がおちつくのではないのでしょうか？人とのふれあいやま心も生まれますよ。皆様（京都市役所のスタッフさん）はそうは思わないのでしょうか？</p> <p>とにかく、日本の国、京都の町がだんだんとアメリカのような考え方、町なみになっている感じがします。昔、同めい国のイタリア（とくにフィレンツェ）をみ習って下さい。あの国や町は、けいかんを色や景色等をとつていしてる昔のふぜいを全体に町並みを京都も残すべきだと思います。京都の町は高いビルやマンションは必要ありません。ぎおんや上七けんの町家のようなのが、錦市場の本来の市場、町家の家は人々が住んでいた者の京都らしさを又よみがえるような（100年～200年前）、京都町に作るべきだと私は思います。</p>			
5	下京	<p>前略、都市計画マスタープランについて私見をお送りします。</p> <p>先日マスタープラン（素案）特集号を拝見しました。</p> <p>マスタープランとしてはその方針が9分野にまとめられ明確になっており、すばらしいものだと思います。</p> <p>私は京都市の特徴は、災害の少ない安全安心な街であること、文化的歴史的な都市であることを市民が誇りに思い大事にして継承しようという志が感じられる事、住居と職場と繁華街が近くコンパクトであることなど、済み易くて良い街だと感じています。</p> <p>そこでこの特徴を活かすに、マスタープランの「歩くまち」にて自家用車の市内のある地区への乗り入れを是非とも禁止していただきたい（例えばパリのように）と思います。</p>	1 5	1 4	3 7

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
		<p>特に観光季節など中心街を中心に至るところで車が溢れウンザリしてしまいます。</p> <p>市内を国道が走っていますので市内全域の完全禁止は難しいと思いますが、観光地や田の字地区などある地域はマイカーを禁止にすればもっとすばらしい街になるのではないのでしょうか。</p> <p>ご検討よろしく申し上げます。 草々</p>			
6	左京	<p>それぞれの地域が公共交通等によりネットワークされた、暮らしやすく、地球環境への負荷が少ないエコ・コンパクトな都市構造を目指すことには、賛同します。</p> <p>特に、財政状況が厳しい京都市においては、コンパクトな都市を目指し、都市基盤整備を極力抑える取り組みが必要と思います。</p> <p>都市の将来像については、もう少し分かりやすく例示を挙げて、例えば、未来の交通は LRT などが運営され、利便性が向上しているような、挿絵など、イメージできるよう工夫してほしいと思います。</p> <p>また、3月11日の東日本大震災を契機に、災害に強いまちづくりを目指す取組が不可欠と思います。</p> <p>どのようにすれば、減災できるかという発想で被害を少なくする取組をしていただくようお願いいたします。</p>	2	2	1
			2	2	3
			7	6	3
7	西京	<p>洛西地区のスーパー撤退による買い物難民の問題、および、それに伴う、人口の流出を考えると、洛西ニュータウン造成時の計画であった洛西地区への鉄道の延伸（桂坂地区および京都大学桂キャンパス含む）は、早急に解決すべき問題だと思えます。</p> <p>そうすることによって、京都縦貫道路の名神高速道路接続とも相まって、洛西・桂坂地区は、自動車に頼ることのない環境となり、安全な街づくりができると思えます。</p>	5	4	2
8	伏見	<p>京都はむかしから、地域事業に関しては全国モデル都市である。これからも全国が見習ってもらえる都市を作るべきだと思います。</p>	1	1	1

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
9	南	<p>愛する京都の町の将来像が大変楽しみです。多くの計画案が提示されていますが是非とも全てが達成出来ま す様に願っていますと共に一市民としても全面的にご協力させて頂きたいものと思っています。そこで一つご 意見を申し上げます。</p> <p>都市計画の理念の中で「市民が安心・安全で豊かな暮らし」・・・更に「人が主役の歩くまちの推進」が掲 げていますが私には違和感があります。京都の観光地や繁華街、伝統的な町並み、そして名所旧跡周辺のみ の整備が行き届くイメージが致します。現実はずっとドロドロとした実態があります。先日見た光景を簡単にご 紹介します。車椅子に乗って歩道を走行されていた女性の高齢者が歩道に半分以上乗り上げて駐車しているト ラックで通行する事ができなくなって困って居られました。私も何度も経験しています。この様な現実を目の 当たりにしながら横をパトカーが知らんぷりして通過して行きます。こんな現実で「人が主役の歩くまち」が 実現するのでしょうか？まさに「仏作って魂入れず」としか思えないのですが・・・いくら立派な方針が掲 げられても実現へのプロセスを確実なものにしていただけねばなりません。</p> <p>各歩道の段差もしかりです。人が主役でなければなりません。警察などと連携を図りながら徹底的な施策を 講じて頂きたく願っています。それぞれの提示にも色々と意見はありますが今日はこの程度にさせて頂きます。 頑張ってください。</p> <p>ご期待しています。</p>	5	4	1
10	中京	<ul style="list-style-type: none"> ・総花的で、具体的な目標（特にどの程度の時間軸で目標を達成するのか）に乏しい。 ・四条通（特に烏丸一河原町間）及び河原町通（四条一御池間）の交通事情改善は喫緊の課題。車線を少なく とも三車線以下に減らし、歩道拡幅と車道の混雑時一方通行を実施して歩行回遊者の呼び込みと渋滞の改善 をしなければ、河原町地区の衰退は止めようがない。 ・地下鉄烏丸線は北は大原、南は洛南新都または免許試験場あたりまでの延伸、東西線は少なくとも桂での阪 急・JR 接続と二条あたりから北へ金閣寺ぐらいまで延伸し、通勤客と観光客の両方を呼び込む必要がある。 市交通局のみの単独にこだわるのは時代錯誤であり、阪急・京阪などの民間と積極的に共同で投資・運営・ 開発を行うべき。 	1 5 5 8	1 4 4 7	5 2 6 2

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
		<ul style="list-style-type: none"> ・京北地区及び途中の高尾などは貴重な観光資源になりえるが現状は京都市からの交通アクセスがあまりに貧弱すぎる。鉄道が望ましいが、無理ならトンネルを開通して、現状の1時間アクセスを40分程度にすべき。 ・市内から滋賀方面へのアクセスが貧弱すぎて、通勤自動車による渋滞がひどい。御池－川端－三条通－蹴上ぐらいまでを地下バイパスで結ぶと少なくとも三条京阪周辺の渋滞はかなり改善されると思う。 			
11	上京	人口減少、都市部への集中により、山間部への施策が重要とありましたが、京町家と同様に、茅葺の田園風景など、農村部の景観保全への具体的なアクションが必要ではないでしょうか？	5	4	1
		交通施策について、都市部は、LRTにより車社会からの脱却が必要と考えますが、BRTの効果はいかがでしょうか？（言葉の意味も分かりません。）都市から車を排除するためには、車線を減らし、LRT路線を設け、自転車道を作る方が良いと考えます。そうすることにより、商店街の需要や価値が高まり、歩くまちへの理想に近づくのではないのでしょうか？	5	4	4
		なお、マスタープランにどう関わるか分かりませんが、今出川での実験では、商店の方々や荷捌きの関係で苦情が出たと伝えられました。道路で荷捌きすること自体が、問題ではないのでしょうか？論外な意見に、耳を傾ける必要はないと思います。	6	4	1 4
			6	4	1 6
12	市外	<p>(1)「都市計画を運用する際の戦略的な視点」について意見を申し述べます。都市計画を戦略的に運用することは低成長下での都市活力の持続には必須であり、このような視点をマスタープランに記載することは大変意義のあることであり、京都のアイデンティティをより高め、さらに的確なマネジメントにより、京都のサステナビリティを高めるといふ京都市さんの都市戦略がよくわかる記載だと思います。</p> <p>しかし、効果のイメージにおいて、マイナスのイメージの強い表現がいくつかありますので、もっと前向きな表現にすべきではないのでしょうか。たとえば、「過度なインフラ投資抑制」→「将来世代に負担を残さない」などにすべきと考えます。また、「都市間競争」という言葉は、一流都市のマスタープランにはふさわしくないと思います。</p> <p>さらに、スピーディな対応は効果じゃなくて手段であり、「効果のイメージ」には効果じゃない記載が多いです。</p>	1	1	2
			4	3	5
			1 0	1 2	3
			1 0	1 2	9

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
		<p>(2)「地域まちづくり構想」について意見を申し述べます。この動きを永続的にするには、行政側のサポート主体を明確化すべきであり、京都市さんには「景観まちづくりセンター」というすばらしいところがあるので、これを明記すべきだと考えます。また、地域まちづくり構想は順次追加されるとのことですが、最新版がいつのものかが分かる工夫をしていただきたい。</p> <p>(3)都市計画の方針のなかに、「特色ある通りの形成」という節がありますが、これは実に京都らしい素晴らしい方針だと評価します。しかし、具体的な記載には幹線通りのことしか触れられていないのが気に懸かります。京都らしさを形成しているのは、特色ある大路小路すべてであり、鞍馬口通りや馬代通りなど小さい通りにもスポットを当てるべきだと思います。</p>			
13	上京	<p>〇〇〇では、商店街の活性化を図るために、〇〇〇まちづくり協定を定めている。是非、都市計画マスタープランの地域まちづくり構想に位置づけて欲しい。</p>	10	12	2
14	左京	<p>都市計画の理念に見られる根底には、いつも「日本に京都があつて良かった」を感じさせるものであつて、歴史遺産を多く持つ京都ならではの発想のようにおもわれます。むろん大事な事ではありますが、住民の側からは「京都に住んで良かった」また、他の都道府県の方々からは「京都に住みたい」と、思われるような都市造りを目指した計画であつてほしいものです。</p> <p>基本施策を、次世代を担う人達が安心して働ける、且つ又その先を担うべき子供たちを、ゆったり育てはぐくめるような、そして高齢者には健康的な老後を過ごしていただける、医療、住居の整備を整える施策を基本としたものを、明確に打ち出したものをお願い致します。街の安心、安全、保育所、児童、学童、医療、福祉厚生等々、人々の暮らしを豊かにするレベルを、全国ナンバーワンを目指していただきたいものです。</p> <p>今後益々地方分権が進むものと思われ、その中で京都に住んでいる人を本当に大切に考えている都市であれば、真に「日本に京都があつて良かった」に相応しい存在となることでしょう。</p>	2	2	4

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
15	南	<p>ヨーロッパで多く見かける1世紀前の街並み、スペインの都市トレド等に代表される素晴らしい歴史的街並みを、日本の歴史都市である、京都でも再現、保存することを求めます。</p> <p>木造建築は火や耐久性に弱いため、従来の街並みのまま残存することは困難でしたが、今般の技術向上により木造建築物も長い期間の耐久性を持つ事が可能になりました。</p> <p>また、日本のアイデンティティーは京都に凝縮していると考えております。観光にしても、日本人の心としても、そういった都市が、求められているのではないのでしょうか？</p> <p>少なからず、私はずっと求めています。</p>	7	5	1
16	左京	<p>私はこの中で特に地震による対策は必要だと思います。なぜならこの頃地震が多いのに、いつとかなくてもそれも根拠のない6か7くらいのきつい地震があるかわからないので、ふだんからよく対策することが大切であると思います。それにはまず、建物が地震に強いことが大切であると思います。ふだんから耐震の建物はどうか（地震に強いのが備えてもらうのがよいと思います。そしたら安心するし、いざという時に困らないので、いろいろ耐震対策が必要だと思います。きたない字でどうもすみません。</p>	7	6	1
17	左京	<p>エココンパクトな都市という言葉はこれからの時代を見据えて、京都の都市特性を語るにぴったりの言葉であると思います。</p> <p>京都と言えば、文化財の保存、町家保存、というレッテルが貼られて、京都市全域に和風であるとか、文化的な風趣を大事にとかいうイメージがつかまっています。京都の目玉はとても大事ですが、それを支えるには財源が必要です。ただ、守るだけではなく、いかにして、フレキシブルに活用し、発信し、多くの観光客を受け入れ、それにより雇用を生み出していくことも必要です。</p> <p>150万人もの人々が住まいし、職を得、伝統から先端まで多くのものづくりが発展してきた伝統と進取の気風の地であることを忘れず、常に未来に向け、少し柔軟なまちづくりを考えていく必要があります。</p> <p>それぞれの地域（区レベルではなく、もう少し狭いレベルでも）の特色を活かした、まちづくりのスタイルを地域構想計画でもっと多く示すことが必要かと思われまます。それに合わせたフレキシブルな都市計画のあり</p>	2 9 10 10 12	2 9 12 12 13	1 3 1 3 18

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
		<p>方も今後の課題であると思います。</p> <p>現在出されている地域構想には賛成ですが、サステイナブルに動かしていくためのまちづくりをサポートするしくみが恒常的にあることが必要です。</p> <p>最後に、エココンパクトであることが都心だけに目をやっているような気がします。周囲にスプロール化した戦後の新市街地の再生をどうするかも今後の大きな課題です。</p>			
18	東山	<p>東山地区は、京都市内でも最も高い高齢化率を示している地区である。加えて、地形上も坂が多く、日常生活の買い物も極めて不完全な街になっている。</p> <p>近くの商店街としては、今熊野商店街が唯一の商店街であり、日常の買い物は、この地区がメイン。伊勢丹や大丸・高島屋の百貨店に関しては、行くには交通の便が悪く、かつ、老人には、バスの乗降は不適合。街作りを担う委員の皆様方には、一度バスに乗って体験をしてほしい。買い物袋を手に持って、バスの中を移動し、ステップを乗り降りするのは極めて危険である。介護保険増加の一因である。せめて、日常生活の買い物ぐらいは、自家用車で安全に出かけたいものである。「買い物弱者」の手当てを当局はどのように考えているのか？</p> <p>加えて、老人同士の横の連携も取りにくく、街中で、買い物ついでに、人と話が出来、老人同士の気持ちの繋がりが出来ると言う空間スペースを形作ることが、高齢化社会の活性化につながるのではないか。</p> <p>観光目当ての歩道確保と市民の日常生活、特に、老人の日常生活権の確保とでは、どちらを優先させるべきなのか。市民あつての観光であるべきである。</p> <p>京都の表玄関である京都駅のタクシーの有りようは、なんなのか。タクシーの入り口を絞ってタクシーの乗客には極めて不評であった従来の京都駅前のタクシーの入り口と、改正したあとの塩小路通りの河原町まで並ぶ空車タクシーの列。京都駅前の客待ちのタクシーの列。何を考えての行政の判断なのか。</p> <p>もっと、現場を見て、現場から学び、答え・政策を打ち出してほしい。</p>	2 5 6 11	2 4 4 13	6 8 11 7

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
19	中京	<ul style="list-style-type: none"> ・日本全体で少子高齢化や人口減少が見込まれる中で、今回将来都市像としてご提示いただいたエコ・コンパクトな都市構造は、三山等地理的条件により、他都市と比較しても無秩序な市街地が限定されている京都、環境先進都市としての京都、人と公共交通優先の「歩くまち」の政策を推進している京都、これらを統合し、昇華した素晴らしいものだと思います。 ・相互につながる個性的な地域の形成では、京都市全体でのネットワークを記載いただいているのですが、京都市は、町衆の創設した番組小学校の学区である元学区が地域コミュニティの核となり、それぞれの地域が魅力的なまちづくりを意欲的に行っている長所がありますので、都市計画マスタープランでどこまで記載できるかわかりませんが、これにもっとスポットを当てて、元学区同士のネットワークの拡充などをソフト面で行うような施策を意識した記載ができればと思います。 ・前回マスタープランでは、行政区別の地域別構想がありましたが、都市計画は行政区別に方針、構想を共有できるものではないと思います。今回、行政区別の地域別構想が都市計画の方針、構想を共有できる範囲で個別に策定する地域まちづくり構想になったことは素晴らしいと思います。 	2	2	1
			2	2	7
			10	12	1
20	中京	<p>自分たちの都合で緩和する景観条例は廃止すべき。</p> <p>現在、旧市街地美観エリアの10階建てマンションに居住しているが、景観条例後は5階建てまでしか建てられなくなっているが、将来建替えの際に居住スペースの補償は京都市がするのですね。</p> <p>「景観条例」、「歩くまち」と中心部のごく一部のエリアに無理を押し付けるのであれば固定資産税を免税にでもしたらどうか。</p>	12	13	20
21	下京	<p>現在、西大路四条～西大路七条はファミリー層向けの分譲マンションや住宅の建設が盛んに行われ、今後も人口が増えてゆくことが予想されます。</p> <p>しかしながら未来を支える子供達を育むために重要な公共施設である市立図書館がこの地区にはありません。市立図書館の所在地の地図を見ていただければ一目瞭然ですが、ぼっかりと空白地帯となっています。</p> <p>なぜこの地区だけが取り残されているのでしょうか。移動図書館も月に1回では意味が薄いと言わざるを得ません。</p>	9	11	2

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
		是非とも西大路四条～西大路七条の文化空白地帯に市立図書館を設置して下さい。 数年前に府立図書館の建設が検討されたものの計画中止となった建物もあります。このような跡地を有効利用できないのでしょうか。府立図書館よりも市立図書館の方が子供を含めた地域住民にとって望ましい施設であることは言うまでもありません。 ご検討よろしくお願い致します。			
22	下京	第2節 歩くまち京都 に関して 健常者の方たちから見れば少しの凸凹が、障害者には非常に歩きにくいことを認識して頂きたい。 「歩くまち京都」の趣旨には大賛成である。しかし、歩道をよく見てみると 1) 住宅地*の自動車車庫入れのために、車道から車庫にかけて傾斜が付いている。 2) 住宅地*から車道に向けても傾斜が付けられている。 *→必ずしも住宅地とは限らない その為に、歩行者は傾斜や凸凹を認識していないと転倒しそうになる。 健常者はまだしも障害者（特に下肢傷害のある者）車椅子の者また、高齢者には笑い事ではない。 ◎車優先ではなく、人優先。 『歩道は水平にする』方向に変更していただきたい。 今後の歩道工事は勿論、改修される歩道についても、現状復帰ではなく水平に変更していくように明記して施行をお願いしたい。 乱文で申し訳ないが、よろしく配慮願います。	8	7	1
23	中京	歩道のバリアフリーを是非すすめてください。	8	7	1
24	中京	地震がいつくるかわからないので、耐震化を是非進めてほしい。	7	6	1
25	東山	京都の路地は、昔からのもので、素敵です。でも、地震のとき逃げられないなど、ちょっとこわい。普段で火事とかがあっても、消防車もはいつてこられない。 この間なんか、救急車がこれなくて、隊員の人達がたいへんでした。 安全な路地を目指して行ってほしいものです。	9	9	1

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
26	西京	地下鉄の延伸を考えてください。	5	4	2
27	下京	歴史都市である京都市にマッチングした安全・安心な都市を造るため、1日も早い都市計画マスタープランの実現を期待しております。	1	1	1
28	伏見	<p>どんどん、田んぼが失われていっている。</p> <p>法律で建物が建てられないはずなのに、実際はどんどん建物がたっている。</p> <p>法律は意味がないのではないか？そんなんやったらやめてしまえばよい。建てるなら建てる、建てないなら建てないとはっきりしてほしい。開発するんならきちんと開発して、良い街にしてほしい。</p>	4	3	7
29	北	<p>京都は観光というイメージが強いが、その影にかくれているが、工業が盛んな都市であると思う。町工場もたくさんあるし、大きな会社も町の真ん中にあったりする。</p> <p>騒音とかの問題もあるが、この不況に打ち勝つには、工場を元気にするべきである。円高で今は大変だけど、それを跳ね返すような元気なまちになればよい。</p> <p>あと、工場の中にマンションがあるのはどうかと思う。うるさいのは当たり前なので、家をセントラルパークとかにして、環境に配慮したらよいと思う。</p>	4	3	2
			4	3	3
30	不明	地域まちづくり構想には、行政の支援が不可欠だと思いますが、支援体制などはどのようにお考えでしょうか。	10	12	3
31	不明	地域のまちづくりの方針に、地区計画制度の活用とありますが、地区計画の取組には、非常に手間も時間もかかります。地域の負担の軽減のためにも、柔軟かつより迅速な対応をお願いします。	1	1	4
32	上京	<p>・景観の保全に関して、新景観政策で大きな負担を市民にかけ取り決めたのだから、これからも堅持すべきである。また、歴史的な町並みが残る地域など特に保存すべきエリアをもっと拡大し、メリハリのある政策を進めてほしい。手遅れになる前に。</p> <p>・一方で、保存ばかりでなく、商業や産業を活性化させる具体的な政策をもっと打ち出すべきである。</p>	4	3	1
			7	5	1

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
33	中京	1 子育てしやすくするために 保育園をもっと増やしてください。中京区はマンションも増えて子ども人口が増えているのに、保育園が少なすぎます。幼稚園の「こども園」化を早く進めてください。廃校になった小学校の跡地などを利用できないでしょうか。 小学校を増やしてください。御所南小学校は飽和状態です。適正な人数になるように春日や生祥などの小学校を再開してはいかがでしょうか。			
		2 交通環境整備のために 自家用車を減らして、地下鉄・バス・自転車を活用したいと多くの方が思っていますが、環境整備が追いついていません。	5	4	1
		地下鉄烏丸御池の駅に地上へのエスカレーターを設置してください。エレベーターは分かりにくい場所に1台あるだけです。あまり利用されていません。大きな荷物を持った観光客、高齢者などが長い階段で苦労されていて、申し訳なく思います。烏丸御池駅のバス案内所はバスターミナルでもないのに不要です。そのスペースをもっと有効に活用できないでしょうか。	5	4	5
		100円循環バスはとても便利です。平日にも走らせてください。また、運行時間ももう少し長くして、本数も増やしてください。これを活用すれば、四条通や河原町通の自家用車は減らせると思います。	9	1 1	3
		駐輪場や自転車専用通行帯を整備してください。歩道に自転車がたくさん止まっているのは、迷惑ではありますが、それだけ自転車の利用者が多いという証拠でもあります。町中の駐輪場を1台分減らせば自転車10台分の駐輪場が作れます。例えば、四条烏丸の市営駐輪場の1フロアを駐輪スペースにするだけでもだいぶ違うと思います。違法駐輪として取り締まるだけでなく、もっと自転車に優しい町作りをしてください。自転車を利用するのが楽しくなるような町作りをしてください。	9	1 1	4
		自転車専用の通行帯もできるだけ整備してください。四条通は車道をバス・タクシー・物流専用にして、1車線減らし、そこを自転車用にしてほしいと思います。烏丸通・河原町通も自転車車線を1車線作れないでしょうか。	1 1	1 3	3
			1 1	1 3	4

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
		<p>四条通や烏丸通，河原町通の自転車専用車線の中に駐輪場があれば，お店にも行きやすくなります。ミーナやバル，寺町通り商店街などに行きたくても駐輪場に苦労します。空き店舗などを活用して駐輪場ができないでしょうか。</p> <p>マンションやビル・店舗を作るときは余裕のある駐輪場の設置を義務づけてください。マンションで1世帯1台では足りません。道路にはみ出して止めている人も多く，危ないです。</p>			
34	南	<p>プラン全体として賛成です。</p> <p>「地域まちづくり構想」の部分ですが，行政は，情報の提供，地域まちづくり構想作成のアドバイス等の必要な支援を行うとなっていますが，構想については，地域で作り上げるものなののでしょうか</p>	10	12	7
35	不明	地下鉄の各駅周辺に，もう少し駐輪場を整備して欲しい	5	4	5
36	市外	都市部の緑地・公園をもっとつくり，子どもが安心できる空間の確保に努めてほしい	8	8	1
37	中京	<p>プラン素案は「生活」や「安心・安全」等の面から目標とする都市の姿を設定するとしているが，これらを支える「福祉」や「子育て支援」の視点についての記述が弱いのではないかとかんがえる。「京都市基本計画」にも「子どもを共に育む戦略」や「いのちとくらしを守る戦略」が位置づけられており，プランにおいても記述を充実させていくべきと考える。</p> <p>とりわけ「子育て支援」については，人口減少を食い止める対策としてだけでなく，都市の魅力の一つともなるものであり，都市づくりのビジョンとしてもしっかり位置づけられるべきである。</p> <p>こうした点を踏まえ，具体的には以下の修正を一案として提案する。</p> <p>本編1-3</p> <p>「■ 都市づくりを進めるための指針」を以下のとおり修正する。</p> <p>「京都市を取り巻く産業・社会構造の急激な変化や，市民の価値観の多様化と生活環境に対する意識の高まりに対応して，<u>市民が生涯を通じて安心・安全で快適に暮らすことができる都市づくり</u>や，産業振興，環境保全，<u>子育て支援</u>などに資する都市づくりを進めるための指針とします。」</p>	2	2	5

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
		<p>本編 2-4</p> <p>「今後、人口減少が進むと・・・生活が困難になること等が懸念されます。」の次に、次の一文を加える。</p> <p><u>「このため、地域コミュニティの活性化や、安心・安全な暮らしを支える保健福祉施策の重要性が今後更に高くなります。」</u></p> <p>更に、「人口は、経済成長や労働力の確保など、都市の発展と活力の維持に多大な影響があり、都市計画の分野としても人口減少をできる限り食い止めることが必要です。」の次に、次の一文を加える。</p> <p><u>「そのためには、子育てしやすい都市環境づくりが、長期的な人口減少を食い止める方策の一つとしても必要となります。」</u></p> <p>本編 2-6</p> <p>「誰もが快適に暮らし続けることができ、また、暮らしてみたくなる生活空間が必要です。」の前に、「<u>子どもから高齢の方まで、障害のある方もない方も、</u>」を加える</p> <p>本編 3-6</p> <p>「人口減少に歯止めをかけることは、京都市の未来を左右するきわめて重要な課題です。」の次に、次の一文を加える。</p> <p><u>「京都市では、子育てがしやすく教育が充実しているという都市の大きな魅力があり、定住人口を増やすためには、こうした施策の推進を視野に入れた都市づくりが重要な観点となります。」</u></p> <p>本編 3-18</p> <p>「暮らしやすい生活圏を維持・構築することで、誰もが快適に暮らすことのできる都市を目指します。」の前に、「<u>子育て環境等が整備された</u>」を加える。</p> <p>「①地域の個性をいかした、快適性と利便性の高い都市」を次のとおり修正する。</p> <p>「地域活力や居住環境の維持・向上のため、これまで京都のまちが培ってきた地域の支えあいの伝統や地理特性、社会資源をいかしつつ、日常生活を支える子育て支援、医療、介護、商業、教育などの機能の充実と、各施設の適切な配置をはじめとする社会環境の整備、空き家や空き地等の有効活用などの取組を</p>			

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
		<p>展開するとともに、地域の特性に応じたまちづくりなどの取組を展開することで、地域の魅力向上を図り、快適性と利便性を兼ね備えた都市を目指します。」</p> <p>本編 3-19</p> <p>「②暮らしやすい生活圏がネットワークする都市」を次のとおり修正する。</p> <p>「豊かな暮らしを維持・発展させ、子どもから高齢者まで、<u>障害のある方もない方も、安心・安全で快適な生活ができるよう、公共交通を中心とした交通拠点への都市機能の集積や、市内各地での地域間のネットワークを維持強化することによる生活圏の形成や、生活圏間でのネットワークの維持強化や移動の円滑化（バリアフリー）</u>を図ることで、暮らしやすい生活圏がネットワークする都市を目指します。」</p> <p>本編 4-9-1</p> <p>「【具体的な方針】エ」について、次のとおり修正する。</p> <p>「<u>市民の暮らしを支える公共公益施設については、学校や児童館、保育所等の地域に根ざした施設は、身近な地域の核として利便性を高め、病院や官公庁等の全市的な施設は、広域的な対応を可能とする機能を高める等、それぞれの施設や地域の特性に応じた機能の集積と高度化を図ります。</u>」</p>			
38	南	<p>マスタープラン素案・特集号2頁目の「活力ある都市を支える様々な軸」の図の中の「国土軸」について</p> <p>(1) 現在、京都一大阪間については、幹線道路ネットワークが充実していますが、京都一滋賀間については、国道1号線のみを頼りすぎ、年中、交通渋滞を起こしている状態で、この部分に新たな「国土軸（幹線道路ネットワーク）」が21世紀には「不可欠」と考えます。</p> <p>(2) 現在滋賀県では、「旧草津川跡地」を含む広大な交通網を検討中であり、15年後の21世紀の町づくりとして、保留中の「京津トンネル計画」を復活すべき時代を迎えつつあります。</p> <p>(3) 今後は、公害対策も急速に進み、電気自動車、電気バス、ハイブリッドカー、LRT等が交通手段の中心となる為、排気ガス等の影響も軽微となり、「びわ湖リゾート」や「京滋の大学間の交流」も活発化し、京滋にとって双方メリットが生ずるものと確信します。お互いに連携した「プロジェクト計画づくり」をされる事を切に望みます。</p>	3 8	2 7	10 4

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
39	北	<p>「歩行者と共存した自転車利用の促進」については、地球環境への付加の低減や健康づくりにとって有効なので、一定の評価をしています。しかし、私たち視覚障害者や高齢者をはじめ、歩行者にとっては、白杖や身体への接触事故が頻発するなど、自転車運転者のマナーの悪さも課題となっており、現状のままの共存には賛成できません。施策の一例として「広い歩道での自転車通行区域や通行帯の整備」が上げられていますが、これについてももし歩行者が自転車通行エリアに誤って入り込んだ場合においても、自転車には一定の注意義務が存在し、あくまで歩行者優先であることは変わらないと考えています。</p> <p>そのため、利用マナーの向上については、放置防止対策だけでなく、走行マナーの向上のための取り組みについても盛り込んでいただくことを希望します。</p>	5	4	1
40	左京	<p>都市計画ニュースを見ましたが、平成 14 年度にまとめられた都市計画マスタープランの振返りがなく、何が出来て、何が出来なかったのかが不明瞭です。また、これまでの既定路線である他方面の施策を「綺麗にまとめた」感が否めません。「都市計画」として、何をどうするのか、いつまでにするのか、などについて明らかにすることなく市民意見を募集しても、「良い事だけ」を書いているので意見もないのではないのでしょうか。</p> <p>このままでは、都市計画としての主体性が見えないマスタープランですので、平成 37 年になっても、この計画がしっかりと見返されることなく、出来なかったことは「他部局のせい」となるような気がします。</p> <p>マスタープランをより実効性のある計画とするためにも、より具体的な「実施計画」を検討されてはいかがでしょうか。</p>	1	1	6
41	西京	<p>基本的な方針には賛成する。市街地規模の拡大はしないことや、エコ・コンパクトな都市を目指すことを明記している点は良いと思う。</p> <p>4章2節の歩くまちについて、「過度に自動車に頼らない」とされているだけであるが、自動車交通を抑制する旨を打ち出してはどうか。四条通歩道拡幅の問題もそうだが、自動車やタクシーの総量を規制しなければバス等の利便性は上がらない。世界トップレベルの公共交通の使いやすさを目指すというならトランジット・モール化くらいしなないとと思う。</p> <p>それから、単に自転車利用を促進するというのはどうかと思う。不法駐輪や走行マナーの問題などへの対処</p>	2 5 5 6	2 4 4 4	1 1 3 9

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
		<p>も必要であり、公共交通から自転車へのシフトが起こるのはあまり好ましくない。駐輪所を増やすだけでなく、かしこい自転車の利用を推進していくべき。</p> <p>また、5節の道路に関する内容にはあまり触れられていなかったが、高速道路の計画についてはどう考えているかを知りたい。個人的には都心に自動車を誘導する恐れのある西大路線や堀川線の建設は、「歩くまち京都」の方針とも反し、反対する。</p> <p>ついでに、西京区の基本計画では延伸を切望しているように書いているが、地下鉄東西線の延長計画はまだ生きているのか。もうあきらめたらと思うのだけど…</p>	8	7	5
42	市外	<p>京都市都市計画マスタープラン（素案）を読んで、障害を持つ人に対するプランが不十分なのではないかと感じました。「歩くまち・京都」の実現ということがプランに挙がっていましたが、特に観光面において京都の主な観光名所は階段が多くあつたり道が狭くなっていたり障害を持つ人にとっては非常に不便なのではないでしょうか。多くの人々に京都の魅力を知ってもらうためにも、道幅をもっと広くして通りやすくしたり、階段の多いところにはスロープをつけたりすることが必要であると思います。しかし、京都には貴重な文化財が多くあり歴史的景観を損なわないようにしなければならない場所も多くあります。そのため、設備・施設面での対応だけではなく介助者・ボランティアなどのサービス面も充実させなければならないと思います。プランに挙がっていたことに加え、このような面も考慮していただければ誰にも優しいまちになるのではないのでしょうか。</p>	1 1	1 3	2
43	中京	<p>選挙まじかのタイミングをはかって、いわばアピールのために御意見募集するのか？どのようなケースなら市民に意見を聞き、聞かないのか？</p>	1 2	1 3	1 9
44	左京	<p>1 北泉通の拡巾及び架橋は、地域の総合的な今日的計画もなしに80数年前の都市計画をそのまま押し進めようとするもので、地域の実情を一番身近にいて知っている住民の意見をもっと真剣に聞く京都市の姿勢が必要。</p>	7	6	5
		<p>2 都計審の前段の縦覧及び意見募集の期間は最低一ヶ月にし、市民の意思が計画に反映されるようにすべきだし、地域での説明会等初めから充分聞いて、広般な意見を聞き、市の方針を終始押し通そうとするべきでは</p>	8	7	7
			1 1	1 3	1

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
		<p>ない。形だけの共汗でなく、京都市・地域を良くしようとする市民をまきこんで真に共汗と言えるものにしてほしい。</p> <p>3 新しい架橋より今、現にあり耐震化が未実施の橋りょうを優先して予算化すべきです。</p> <p>4 一人あたりの公園面積が他の政令指定都市に比べて少ないのに、大企業の金もうけに提供するのはやめなさい。</p>	11	13	8
45	西京	<p>マスタープランにつき意見を述べさせていただきます。</p> <p>1. 基本軸があり過ぎで東京、名古屋、大阪、福岡とどう違うのか、違いは観光地であること、その資源たる文化財が多いこと、その利用を図っていくことくらいしか特色が見出しにくい。文化財の大半が社寺仏閣で「古都保存」的な意味合いしかない。大きな基本軸は2本、エコ・コンパクトな社会と高度な知的価値の育成・拡充で良いと考える。過去は京都が文化発展の中心であったものが今は東京に流出している。たとえば町家を個人・グループ・法人に貸して活動拠点にする、その地域ネットワークや大学研究施設とのネットワーク作りを行政が支援していく取組などは全国でも見当たらない。</p> <p>2. 共汗という言葉が多用されているが行政側の知恵のなさを裏付けてはいないか？地域主体とは誰？民間事業会社や地域主体の人たちに丸投げするのか？元々京都人は排他性が強いといわれるが、自分たちによる自分たちだけのための街づくりになるだけではないかと危惧される。基本的考え方を再検討すべきである。</p> <p>3. 人口減少に伴うコンパクトな街づくりには賛成であるが、密集度を高めるような建築許可はもうやめて既存地区の再利用再開を促進するような方向で運営を願いたい。そのためにはひとの移動手段としての交通が市バスのままでいいのか？新たな交通手段はないのかを検討すべきである。京都は縦横の道路なのだから基本は縦と横方向のバス、ミニバスでよく(ごちゃごちゃ回るルートは不要)、後は乗継をスムーズにすればよい。ソウルのように乗合タクシーも許可したらいい。自転車放置問題は既存交通システムが欠陥であることを示しているので、この観点も計画指針に入れるべきである。</p>	2	2	2
			3	2	11
			9	9	2
46	中京	<p>東日本大震災が発生して全国的に津波対策が進められている。京都市では津波の心配こそないが、しっかりと地震対策を進め、安心して住めるまちづくりを進めていただきたい。</p>	7	6	1

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
47	市外	<p>京都市民ではありませんが、京都が好きで年に何度か訪れており、今回観光客の立場としてコメントさせていただきます。</p> <p>「歩くまち京都」の推進は人を中心とした素晴らしい施策で、更なる公共交通の充実を期待しますが、プランの具体化にあたり、道路空間をどう活用するのかを徹底的に議論されたい。</p> <p>道路は誰のためのものか？そこに暮らす人、訪れた人のものであり、クルマ利用者だけのものではないことを確認願います。街中を走るクルマをどう減らすか、あるいは場合によっては一定区域内は走行させないことも必要であり、それによって「まち」がどう変わるのか、人々にとってどうプラスになるのかを示すことが大事と考えます。</p> <p>より魅力ある公共交通の整備に当たっては、LRTの導入を是非検討願います。土地に不慣れな観光客や外国人にとって、LRTの持つ安心感（どこを通り、どこに向かうのかが判りやすい）は非常に魅力的であり、活用の仕方により京都のシンボルとなり得るものと考えます。</p>	5	4	4
48	市外	<p>京都市が、行政の意向を市民に一方向的に押しつけるのではなく、このような形で市民の意見に耳を傾けているところに魅力を感じた。都市計画の重点政策である活性化政策の“西陣地域のまちづくりの推進”について意見を述べたい。西陣織などの伝統技術や町家の振興・再生のために土地、道路や交通機関の整備が挙げられている。これに加えて、「観光客の増加」も振興・再生のために重要なのではないかと考えた。いくら土地、道路や交通機関が整備されても、観光客の数が増えなければあまり意味がない。観光客を増やすための方法として、京都市消防局が行っている防災対策をもっとアピールしてはどうだろうか。つまり、安心して観光できる都市である京都市をアピールするのである。3月11日の東北大震災以降、災害時の都市の対応や防災対策に国民の関心は高まっている。災害時帰宅困難者支援マップや防災マップなどの存在を知れば、観光客は京都市が安心して観光できる都市であると認識できるし、観光客数の増加にもつながる。さまざまな防災対策を知ってもらうためには、それらを分かりやすく説明したパンフレットを人目につく電車やバスに常備すると良いと思う。観光客数が増えることで、西陣地域だけでなく、京都市全体が活性化すると考える。京都市の都市計画に期待したい。</p>	3 7	2 6	1 2 2

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
49	西京	京都市都市計画ニュース			
		都市計画の方針の概要第5節道路に関して			
		道路に対する価値観は新しい段階に来ているのではないだろうか。利便性の供与は相対条件で、少なくとも都市部においてはその価値観は薄いといえよう。			
		道路は都市との一体化を重視すべきだ。それぞれの土地用途に適合したものであるべきだ。例えば、商業地には買い物客やウインドショッピングを楽しめるような行動に対応し、商品の搬入搬出も円滑な道路が必要だし、住宅地では交通量の少なく、大気汚染・騒音・振動のリスクを伴わない安寧な生活をもたらす道路でなければ真の道路ではない。	7	6	4
		「街路は自動車のためでなく、人間のために最も大切な公共空間だと考えられる。それを楽しくいきいきとした空間にする～」（H大学大学院の都市計画論の教材－私達の都市をいかにデザインするか－）。また道路は、まちを形成する景観の大きな構成要素でもある。	8	7	3
		東日本大震災以降特に災害用道路が取り上げられているが、避難が困難な狭小道路の拡幅は当然として、緊急輸送用とされる道路についてはその必要性・ルート・規格・構造・破損した道路の早期復旧の方法等を現地の状況を検証して慎重に検討すべきだ。災害対策を大義名分に、日常における交通量増大を常態化させ自然環境、生活環境を悪化させるような道路を設けることだけは絶対に避けるべきである。	11	13	9
		京都市内では道路を新しく建設する段階は既に過ぎたのではなかろうか。既存道路を地域特性向上に機能させ、景観を良くする質の向上を図るための改良や高水準の保守をするための維持管理に努めるべきではないか。例えば、道路に森を作るとの構想を早期に実現すべきだ。特に片側2車線以上は中央分離帯を設け植栽すること。すべての道路にガードレールに変わって生垣をつくることが望ましい。歩道幅を十分取り石畳・カラー舗装、自転車専用道路、電線の地中化、車道の給水・吸音の舗装によるヒートアイランド・騒音の低減、騒音吸収・排ガス浄化力の強い街路樹、等々の施工。	11	13	10
		ところで、「次期都市計画マスタープラン（素案）特集号」に久世北茶屋線の写真が掲載されている、それがどういう意図なのかかわからないが、久瀬北茶屋線の道路計画について述べる。第二外環状線のアクセス道路	11	13	12

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
		<p>として計画されているようだが、全く無謀な計画である。しかも国道9号線のバイパス化を伴い産業道路化することになる。</p> <p>良好な住宅地として計画された住宅地のど真ん中に、通過交通を誘導するこの計画は、住宅地にとって最も避けなければならない排ガス・塵埃の大気汚染、騒音、振動のリスクを発生させ、住環境を著しく悪化させることになる。沿道住民の健康被害や交通事故の発生及び増大も懸念される。</p> <p>京都市のまちづくりには欠けている面がある。例えば、けいはんな学研都市では、大通りと住宅地は乖離した構成になっている。また、神戸市の西神ニュータウンには都心を結ぶ市営地下鉄が先行して敷設された。これに対し洛西ニュータウンには両者のような施策にかけている。その結果は、車道と住宅が近接しているため沿道は自動車交通がもたらす弊害をもろに受けている。また地下鉄が来ず陸の孤島となって、最寄り電車站とのマイカー送迎が慣例化し、その交通量も無視できない状況にある。</p> <p>住宅地であろうと車を走らせる道路さえ作ればいいという認識を疑う。</p> <p>環境アセスメントにしても根拠が明確でない上、アセスメントの評価如何に関わらず現状を悪化させるのは現実である。また、環境アセスメントの当該事業での位置付けはどうなるのか。現象を常時測定して管理するのか、基準値を上回った場合どうするのか、車の通行を規制するのか。大幅な余地がないと簡単に基準値をオーバーすることになるだろう。</p> <p>まちに美しく安全な道路として、この久世北茶屋線は中央分離帯を設け植栽し、生け垣のガードレールを作るべきである。</p> <p>久世北茶屋線の西端部分は車の不法地帯になっている。他府県ナンバーも含めて大型トラックが建設資材を中・小型の運搬トラックにクレーンで積み替えを行う、その音は大きい。休憩・時間つぶしのタクシー・商用車・マイカーが1時間も2時間を不法駐車している。アイドリングをしている車も少なくない。</p> <p>高水準の質の道路の保守の観点からも、道路がどのように利用されているかをパトロールして把握し、正しい利用を指導・管理すべきである。</p> <p>洛西ニュータウンは季節的に交通渋滞を発生するまちになった。それと相俟って京都市の説明にも見られる</p>			

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
		<p>が「閑静とはいえない騒音に見舞われる住宅地」になった。それもこれも車の通過交通がもたらしている。その解消をニュータウン内の道路に分散する方策は愚策である。ニュータウン内の交通総量が増えることになり大気汚染・騒音等弊害を増大することになる。</p> <p>要はニュータウンの中へ入る前に周辺部へ流出するルートを設定すべきなのである。</p> <p>街路樹について、住民がまちを美しくする目的で街路樹の根元に木や花類を植えているケースが少ないが、そのことが街路樹にとって良いことなのか、悪いのか。正しい方法を指導するべきだ。なお、落ち葉の激しい街路樹には掃除に手を焼くので、出来ることなら避けた方がよい。</p>			
50	左京	<p>歴史都市京都のまちの特色を良く分析されて造られた、総合的なマスタープランの案で、とても良いと思います。</p> <p>特に京都の自然景観・都市の景観を活かしながらも、大都市としての安全性、経済性等について柔軟な対応を示しているところが、良いと思います。</p> <p>公共交通についても、その結節点を中心とした、集約的なまちづくり手法をうたっており、その上での地域まちづくり構想を土台としたきめ細やかな土地利用について、組み込まれており、とても評価できます。</p> <p>今後は、このマスタープランをもとに、行政だけでなく、市民も共に地域の実践的なまち育てができるように、各地域へ入ってまちづくりの応援ができるような仕組みをより充実してほしい。</p>	2	2	2
51	左京	<p>まず、パブコメの信憑性に対して正当性がありますか？</p> <p>土地利用に関しては京都市は力づくで旧左京区役所、京都会館問題でも不透明な部分が多すぎる、ちゃんと情報公開して地元や市民の声を聞いてやるべき。地元の声は自治会だけでない。</p> <p>吉田の旧左京区役所は支所として活用すべき。京都市の職員とその点には要望が多いと確認済み。</p> <p>防災に関しては岡崎グラウンドは今の上では柵が張ってありいざと云う時カギがかかっていて入れない。防災対策と見直すべき。</p> <p>景観に関しては新景観条例を緩和してまで京都会館を建て直すべきでない西側の疏水との融合性を問う。</p>	2 10 11 11	2 12 13 13	8 4 1 6

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
		<p>東山を背景にした借景が破壊される懸念がある。ちゃんと継承委員会で論議すべき。あの委員会は単なるアリの位置づけの物ではない。</p> <p>使いやすい生活に密着した施設はモダニズム建築が多いのでその価値を京都市は理解したうえで本当の京都市民に愛される位置づけで無ければならない。バリアフリー化は大いに良いが京都市の町屋の保全の精神との一貫性に欠ける。</p> <p>この街づくりをやる事によりその施設の周辺で商売している人を置き去りにすることになる。商店街などがんばっているのに空洞化する恐れもあり表裏一体であるのでそう云う事も踏まえて街づくりをすべき。</p> <p>京都らしさとは先人が歴史を積み重ねて作り上げて今の京都を作り上げてきたものなのでその歴史を無視して街づくりをやるべきでないし、ただ単に使いやすいものが京都らしさにつながるか？</p>	12	13	14
52	西京	<p>まちびらきから30年以上が経過した洛西ニュータウンにおいては、少子高齢化、コミュニティの希薄化、サブセンターの衰退、土地利用の変化など様々な課題が現れてきています。このような状況を踏まえ、平成17年8月、都市計画局都市計画課が事務局となって「洛西ニュータウンまちづくり検討会」が設置され、タウンミーティングやヒアリング、アンケート調査等、住民参加の取組を踏まえて議論が重ねられた結果、平成18年11月、「洛西ニュータウンまちづくりビジョン～もっともっと魅力あるまちを目指して～」(以下、「ビジョン」という。)が策定されました。</p> <p>そして、「ビジョン」に示された「緑とゆとりを守り、各世代が支えあい心豊かに共生できるまち」の実現に向け、住民が主体となって洛西ニュータウンのこれからのまちづくりを推進する組織として、平成19年6月、「洛西ニュータウン創生推進委員会」(事務局：洛西支所まちづくり推進課)が発足し、住民・活動団体・事業者・大学・行政等が連携して取組を進めて5年目を迎えています。この間、「ビジョン」で示された4つの戦略に対応した部会(環境部会、安心安全子ども育成部会、コミュニティ部会、生活機能向上部会)が活発に取組を進めるとともに、洛西の魅力発見・発信事業など、多くの住民が参加して多方面にわたるまちづくり事業を展開しています。</p> <p>今後も同委員会では、「ビジョン」の具体的な実現に向けて取組を進めていく予定ですが、特に地区計画や</p>	10	12	2

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
		建築協定、景観協定等を拡大する取組を円滑に進めるために、〇〇としましては、京都市がこの「ビジョン」を都市計画マスタープランの洛西ニュータウン地域における「地域まちづくり構想」と位置づけ、取組を積極的に支援すべきと考えます。			
53	左京	<p>都市計画マスタープラン（素案）は、サステイナブルなまちづくりを目指すとともに、激しい時代変化の中で、フレキシブルに対応できる姿勢をもったものぞまれていることが、非常に評価できます。</p> <p>特に、地域まちづくり構想編を加えられたことが、とても良いと思います。まちづくりには、それぞれの地域の個性にあわせた様々なスタイルがあります。これからも多くの地域が、構想編に加えられていくことを期待しています。</p> <p>そして、市民、企業、行政が連ケイして、未来を見据えながら、生き活きとしたまちづくりが続けられることを祈っています。</p>	10	12	1
54	中京	<p>この度の「京都市次期都市計画マスタープラン素案」に対し、次の2つのキーワードに関する意見を申し上げます。1 にぎわいのある都市、2 歩くまち。</p> <p>歩いて楽しいまちなか</p> <p>京都市がいわゆる田の字地区の建築の高さ制限などを制定しておられるのも、町中の風情を保護し観光散策出来る地域を目指しているはずだと思います。こうした構想の上に、歩いて楽しいまちづくりがあるのなら、中心街区である田の字地区に観光客を導く方策こそ、早急に具体化していただきたい。</p> <p>京都市内の商業活性化に関しては、観光客の誘因は極めて重要であります。近年、京都市が打ち出されている「歩いて楽しいまちなか」戦略は、自転車の増加など問題はありますが、京都市在住のとくに若者層について、浸透してきたように思われます。いわゆる「田の字地区」内に自転車を駐め、歩いてお店や施設を回遊するライフスタイルが出来つつあります。</p> <p>京都市在住の若者層は、既に「まちなか」を歩いて楽しんでいます。また、阪急、京阪など「田の字地区」にアクセスする電車を利用して、近県（とくに大阪府）から多くの日帰り観光客も、錦市場などを中心に「ま</p>	6	4	15

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
		<p>ちなか」を歩いて楽しんでいます。</p> <p>御池通りの観光バス駐車</p> <p>残るは、観光バスで移動する団体客に「まちなか」を歩いて楽しんでいただく機会を提供出来ないものか？という事を考えました。修学旅行生や他府県や海外の観光客にとって、観光バスは移動手段の一つでもあり、観光バスが駐車出来るスペースの必要性が問われるのではないかと思います。</p> <p>御池通りに観光バスを駐車するスペースを設置し、そこから歩いて「まちなか」を楽しんでいただく。もちろん、無秩序に駐車させる訳には行かないと思います。然るべき手続きを経た業者が運行するバスに限り、指定の場所に駐車させるのです。また、例えば御池の地下駐車場を一新して、すべて観光バス専用の駐車場にして、中心街区を起点に観光地へのアクセスを全て公共交通機関で行う事も考えられます。実験的に、京都市役所の敷地の一部に数台の観光バスを駐車させる案はどうでしょうか？</p> <p>その折、「歩いて楽しいまちなか」のマップを作成し、配布するのも良いかも知れません。マップの作成には、各商店街も協力出来るでしょう。また、京都には「京都おもてなし大使」などの京都観光サポーター制度もありますので、修学旅行生や他府県や海外の観光客の皆様と一緒にまちなかを歩いていただくのも一つの案かと思えます。ご遠忌などのイベントで、京都に来られた方に、町屋や史跡の混在する「まちなか」を歩いて楽しんでいただきたい。ともすればワンストップ型になりがちな観光バス利用の入浴客に、京都の底深い魅力を感じていただき、リピーターになっていただきたいというおもいで意見を述べさせていただきました。</p>			
55	市外	<p>京都の交通は、他都市に比べると、非常に貧弱であると感じる。</p> <p>観光シーズンになると、渋滞でバスも動かない。スムーズな移動が出来れば、観光客がより多くの場所を巡ることができ、地域経済にもプラスになるはずである。</p> <p>いくら財政難だからといって、これからの京都のためには、手を抜いてはならない部分であるとおもう。LRTやBRTなどがあるが、そのようなものは中途半端である。神戸や大阪の新交通システムや、名古屋のBRT等も、非常に中途半端であるため、空港ができたり、大きな催し物があると、機能不全に陥っている。</p>	6	4	13

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
		<p>歩ける町の基本は、バスやLRT、BRTではなく、鉄道であるため、しっかりとした鉄道（地下鉄）を作るべきである。名古屋などは地下鉄が環状になっており、非常に便利である。大阪でも、碁盤状に路線があり、容易に歩いて鉄道を利用することができる。路線としては、京都駅を中心とした東大路線、河原町線、堀川線、東西軸として、北大路線、十条線などはどうであろうか。容易ではないと思うが、是非実現に向けて考えてほしい。</p>			
56	左京	<p>次期都市計画マスタープラン（素案）に賛成する。</p> <p>東日本大震災を受け、安心・安全で心豊かなまちづくりに向けて、京都も始動していかなければならない。伝統文化を継承しながらも、柔軟に時代を受け入れ、新たな文化の創造も続けなければならない。大都市京都を支え、人々の暮らしを支え、文化財を継承していくためには、京都にふさわしい経済発展も必要かくべからざるところである。観光産業、ものづくり産業、知恵産業（大学）の振興は京都の生命線に関わると思う。</p> <p>地域まちづくり構想編にあるように、それぞれの地域の将来ビジョンを組み込んだマスタープランは、京都らしい柔軟なまちづくりを進めていくためには、とても良い形であると思う。</p>	10	12	1
57	市外	<p>都市計画マスタープランを拝見させていただきました。</p> <p>道路の部分ですが、主な広域幹線道路と都市計画道路とありますが、阪神高速道路の京都市内部分はいつ完成するのでしょうか。計画が発表されてからかなりの年月がたっているかと思います。</p> <p>第二京阪、また阪神高速が山科まで開通し、だいぶ便利になりましたが、相変わらず京都南ICの大渋滞（併せて1号線）が解消されません。名神高速道路のバイパスとして、また、京都市内の一般道の代替として、非常に有用だとも思うのですが。</p> <p>早く着工し、完成することを望んでいます。</p>	8	7	6

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
58	左京	<p><どんな所に住んでいても基本的生活が出来るような都市構造を作ってください></p> <p>高齢化，少子化が進む社会構造では，きめ細やかな人の絆が保たれるような都市構造の工夫が必要です。バス路線が廃止されたり，わずかな本数しかないようでは，老人や郊外に住む人達は孤立し，病院行きや買い物，区役所の手続きなど生活の基本的なことから排除される。採算が合わなくても市民が基本的生活ができるようにするのは公共の義務です。</p> <p><公園や広場，町は市民の財産です。市民の意見を十分聞いてください></p> <p>住宅地や公園などを活性化という名のもとにした開発するのを抑制し，自然環境と調和した住環境の保全を図り，おだやかで安心できる都市を作っていくのが未来型の町づくりだと思いますのでそのような町づくりをして下さい。高度成長期のような，企業誘致や乱開発はやめてください。</p> <p><現在あるものを大切にす，文化を商品化しないで文化を育てる都市にして下さい></p> <p>「大学のまち・京都」「歴史都市・京都」として，現在ある建物や環境を保全・維持し，先人の知恵の財産をきちんと次世代に引き継いでいくことが大切。左京においては，左京の文化歴史研究の集約場がないので，旧区役所の一部をその研究施設にさせていただきたい。また，近代建築の代表作である京都会館の高さ，外観，様式を保存してください。</p> <p><真の観光を目指してください></p> <p>観光は長い年月培ってこられたその土地の歴史，文化を見に来られる。あちこちに同じようなホテルや賑やかしはかえって土地に個性を失わせる。特に最近優雅にホテルに泊まったり，賑わいに行くのではなく，ゆっくり自然を味わい，素朴な地元の食材が求められたりと，自然環境型の観光が好まれている。空間や自然醸成は観光資産の援出です。</p> <p><何もない空間の大切さを再認識して下さい></p> <p>日本は震災を経験しており，災害時，どのようにでも使える空間の大切さをひしひしと感じました。岡崎公園等公園や広い空間に活性化という名のもとに物を建てたり，賑やかしのカフェやレストランを作ったりしないで，空間として残して下さい。</p>	4 4 6 10 12	3 3 4 12 13	6 8 12 5 15

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
59	北	<p>京都市の特性をふまえて、現状分析し、新しい都市計画について京都市基本計画に沿ったプランは、市民が夢をもち、共汗の意欲を喚起するものです。この都市計画マスタープラン「地域まちづくり構想編」に次のプロジェクトを提案したい。</p> <p><u>京都市街地北部の『自然と学術・文化の総合的まちづくりプラン』</u></p> <p>該当地域は京都市街地北端部（平野と一部山地）で、本山近辺には、現在大学（京産大、精華大）、研究機関（地球研、京大試験地）がある。</p> <p>一方、本山の西方には、柘野学区が広がっているが、かつての田園地帯は道路等未整備のまま、住宅のランダムな建築がすすみ、スプロール化現象を呈している。本山の東側も同様の道をたどりつつある。（道路交通網の整備検討）</p> <p>については、この地を早急に官・学・地域の連携（共汗）のもと、学術・文化や子ども・おとなの学習ゾーンとして、また、住んでよかったと思わせる住宅ゾーンとして再生・開発する必要がある。このことは、京都市の国際・文化の発展につながるものと期待される。</p> <p>（本件は、公、学のご支援のもと、地域から、更に具体的にご提示するものかと思われま</p>	10	12	2
60	市外	<p>素案拝見しました。</p> <p>様々な観点から、よく検討されていると思います。ひとつひとつの項目では、少し気になる箇所もありますが、概ね方向性は正しいと感じました。あとは着実に実施できるかどうかだと思います。</p> <p>この都市計画マスタープランに沿った施策が実施され、魅力的な京都市が実現することを楽しみにしています。</p>	1	1	1
61	上京	<p>自転車と自動車の大事故が予想されるため、自転車専用レーンの整備をお願いします。</p> <p>最近、自転車は車道を走らなければならないとなっています。しかし、歩行者と自転車の事故以上に、自動車との事故が危険であると考えます。</p> <p>自転車はどこを走ればよいのでしょうか。</p>	5	4	1

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
62	市外	<p>京都市では定期的に防災会議・点検が行われており、3.11以降、地震被害予想や原発事故に伴う対応についても話し合われているようで、防災対策に関して非常に熱心であることが調べて分かりました。</p> <p>また、消防局のホームページではたくさんの資料をダウンロードすることができ、特に外国人観光客向けのパンフレットはとても分かりやすく、良いと思いました。</p> <p>しかし、このように十分な対策を行っているにもかかわらず、その情報が十分に市民に伝わっていないように思われます。</p> <p>また、京都には多くの外国人・日本人観光客が訪れますが、市民だけではなく、観光客の人々にも十分な情報提供が必要かと考えます。</p> <p>京都市民に対してはパンフレットを直接配ることや、各地域で定期的に防災対策に関する集会を開くように義務付けることなどはできないでしょうか。</p> <p>また、観光客に対策方法が伝わるように旅行のパンフレットや雑誌に掲載したり避難経路マップをもっと各観光地に設置することができると思います。</p> <p>今後、京都市の防災対策がさらに良いものになることを期待しております。</p> <p>ありがとうございました。</p>	7	6	2
63	伏見	<p>人口減少、高齢等の歯止めを「都市計画」でどのように食い止めていくのかの指標がわからない。</p> <p>大学（若い健常者）を中心に持ってきて、お年寄りを端に追いやっていくようなまちづくりでは、歩いて楽しいまちにはならないのでは？</p>	3	2	1 3
64	左京	<p>京都市のマスタープランに基づいて、使用されなくなった施設および建物を、売却していく方針があり、左京区の合同福祉センターが民間のマンションに売却されました。左京区の旧区役所も、売却の方針で進んでいます。土地活用を基本として既存の市有地、市有の建物は活かして使う方針に変更する必要があります。このマスタープランでは、市民の財産はすべて民間の私有物になってしまいます。左京区役所跡地なども、支所として活用し、地域の文化センターとしての機能が発揮できる建物であるはずで、災害時にも、避難場所として活用できます。歩く町京都にするには、自動車の乗り入れの制限や歩道の整備が必要です。京都市は高速道</p>	5 6 9	4 4 1 1	4 1 0 5

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
		<p>路で、市内に乗り入れ制限をしようとはしていません。しかも、左京区北泉どおりに橋を作り渋滞が目に見えるのに無理な計画を押しとおそうとしています。L R Tの導入など、歩く町の実現を検討すべきです。L R Tの導入を公約とした当初の計画に立ち戻るべきです。</p> <p>文化芸術について、観光にのみ重点を置きすぎています。地域住民が望む文化施策、市民の交流の場所、絵画、音楽などの展示、演奏の場所の確保、練習場所の確保など施設の充実が必要です。左京区には区民センター、青少年活動センター、体育館などが必要です。文化財の保存の点では、左京区は近代化遺産の宝庫です。世界遺産としての下鴨神社などと共に、初代左京区役所庁舎、日仏学館、イタリア会館、京都大学旧人文科学研究所など京都の近代化を促進してきた歴史的遺産の保存活用をすすめるべきです。</p> <p>用途の変更など、岡崎地域の変更は決して京都市民が望む地域指定ではありません。高さ規制や町並み保存を変更して、賑わいを作り出しても、歴史的に見れば、一時の空騒ぎに終わります。疎水を作り、電力を利用して市電を走らせ、滝を利用して庭造りをしてきた先人に学ぶべきです。京都、岡崎の果たしてきた歴史的役割を見つめるべきです。地域づくりでは、住民の声が届く計画にすべきです。区民協議会を設けるなど、住民が意見を出せる場を作り、市政に反映できるシステムをつくる必要があります。</p>	10	12	6
			11	13	1
			11	13	11
			12	13	16
65	西京	<p>私は腰と足くび、耳も悪く身体障害者の手帳をもらっています。〇〇〇現在週に1回注射を亀岡の市立病院に通っています。8月に〇〇〇市営〇〇〇があたって喜んでいますがガレージがありません。私は運転しませんが近くの娘、マゴはします。この手紙を出す3日前にガレージが出来るので予約をまもなく受付けてくださるとの事でした。</p> <p>でも待ってられる方が多く、いつ車がおけるのかわかりません。土地は一ぱいあいています。この市営がいつ出来たのか知りませんが、あの時代より車はすごくふえています。予約さえ受付けてもらえたら何人あとも望みがあります。〇〇〇ですが、車はこの住人達が何人か役員でお世話してもらってます。何度もたのみに行ってます。私達もガレージがないと車もあっちこっちにおいてキズがたくさんついてますが（車が遠くにおいてる時）足がなければ病院もタクシーでいく事が多いです。近くにガレージがあれば助かります。これは地域の町づくりの第一歩だと思います。</p>	11	13	5

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
		<p>雨の日も遠く迄病人の主人に車を取りに行ってもらうのが気の毒で・・・こんな身じかな所で困っているものもおります。都市計画の中に〇〇〇市営のガレージをもっと増やしてもらう様にお願いします。</p> <p>何度も云いますが広い無ダなあいたままの土地が一パイあります。見に来て下さい。そして何台かおける様にたとえ一台でも考えて下さい。一日も早くおきたいのです。今の私達は一番大切なのはガレージです。</p> <p>こんだけの人数の台地です。もっと整備してください。よろしくお願いします。</p>			
66	西京	<p>「地域まちづくり構想」の追加を要望します。</p> <p>西京区「洛西ニュータウン」については、平成18年に作成した「洛西ニュータウンまちづくりビジョン」にまとめられ、その課題に洛西ニュータウン創生委員会を設置して取組中ですが、課題が大きく進展がみられません。ついては「まちづくり構想」として追加して京都市のマスタープランに加え「まちづくり」を推進させたいと考えます。本来 西京区「基本計画」の取組として提案すべきものですが、「西京基本計画」は現実を捉える事が出来ておらず、10年先20年先のあるべき姿が描けておりません。本提案を機会に「西京基本計画」を見直していきたいと考えております。</p> <p>西京区「基本計画」に西京区の10年先20年先の姿が見られません。また各地域の問題点を捉えることなく、抽象的な取組が並べられているように思われます。西京区に置いても地域により問題と課題が異なるものです。それらの問題の対策とこれからの課題を明確にして20年先の西京区を描くことが必要です。特に洛西ニュータウンに関しては、京都市が新住宅市街地開発法により開発されたものであり、この開発は都市計画事業として施行されたものであります。</p> <p>建設直後の都市計画局が調査した、「洛西ニュータウンが市行政に及ぼした影響と今後の動向に関する調査研究報告書」によると10年後、20年度に、単なる"ベッドタウン"として荒廃させないように、関係者の努力が望まれる。何故なら、総合評価は現時点でのみおこなわれるのではなく本来、将来をも見通しなされるべきものである。とあります開発時入居した住民は洛西ニュータウンの将来に希望を描き入居しました。その洛西ニュータウンが高速鉄道の施設がないままに今日を迎え、サブセンターの商店街が閉店し"買い物弱者"となりつつあります。開発当初描いた洛西を「地域まちづくり構想」に追加してまちづくりを展開していきたい</p>	10	12	2

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
		<p>と考えます。</p> <p>○西京基本計画について、</p> <p>①第3節 まちづくりに当たっての課題について、西京各地域の問題点を捉えていない、各地域に夫々問題点、課題があるはずである。</p> <p>②第3章 西京区の将来の姿 西京区の将来の姿及び基本理念、各地域の課題のないままに一足飛びにその姿及び理念を推進していきます、とありますが、その具体性がない。</p> <p>③第4章 まちづくりの方向性と取組 4つのまちづくりの方向性これについては抽象的な一般論に過ぎないものです。</p> <p>④西京区、各地域と述べてきましたが、特に洛西ニュータウンは問題性が異なる部分がありそれらを「洛西ニュータウン」創生のまちづくりとして一括まる投げしているが、創生委員会が課題を捉えているとは思われない又その実績についても評価されていない。平成18年にまとめられた「洛西ニュータウンまちづくりビジョン」の実行体制として設置されたが、その役割を果たしていない。どちらかと云えば、洛西ニュータウンの4ブロックの交流に力点が置かれていて、具体的課題にたいして取組が不十分である。</p> <p>⑤各取組にあたっての10年後の姿が不明確であり、推進方策の文章に注釈が多く欄外の注釈を取り入れて理解することになっているため非常に分かりにくい。</p> <p>○さいごに「基本計画」について</p> <p>西京「基本計画」のみならず、基本計画のまとめ方が各区バラバラであり、基本計画に求められるものになっていない。都市計画として各区「基本計画」を重要視するのであれば、都市計画局として指導すべきものと思われる。第2期11区の「基本計画」について検証して頂きたい。</p>			
67	中京	<p>地域の「まちづくりの方針」を都市計画マスタープランの「地域まちづくり構想」として策定するということについて、まったく理解できません。</p> <p>たとえば、都市計画の専門機関である都市計画審議会に審議され決定された用途地域や高度地区などについて、地域の「利便性の向上、安全性の向上やブランド価値の向上など」といった、ある種住民エゴのような内</p>	10	12	8

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
		<p>容を、「まちづくりの方針」（これを策定する際には、都市計画審議会は関与していないのですよね？）として策定すれば、都市計画として支援するというのは、京都市として都市計画の方向性を地域に委ねすぎていると思います。</p> <p>また、行政がまちづくりの方針に関与するとのことですが、行政の立場上、地域から出た要望については、地域よりにならざるを得ないと思いますので、この場合、京都市が都市計画の方向性に沿ったものであるかどうかをチェックするかどうか疑わしい（むしろ地域にひきずられるだけではないか。）と思います。</p> <p>本当に「まちづくりの方針」を都市計画として位置づけるのであれば、地域のまちづくりの方針を策定する過程の段階で、都市計画の専門機関である都市計画審議会にはかるべきではないでしょうか？現素案に記載されている、「まちづくりの方針」を策定後に都市計画審議会に報告するだけで、都市計画マスタープランの一部になるというのは、都市計画審議会を軽視している、または、専門機関を通さずに行政のお手盛りで進めようとする意思が感じられます。</p>			
68	上京	<p>PDCA サイクルの導入を行うのであれば、前回の都市計画マスタープランの PDCA を行ってから今回のマスタープランを作成するのが筋では？</p> <p>前回とは構成を変更したことはわかりますが、その内容をどのように DO して、どう CHECK して、今回のマスタープランに ACT されるのかが、まったく記載されていません。まずこれをしてから、今回のマスタープランについても引き続き PDCA するべき。</p>	1	1	7
69	右京	<p>次期「京都市都市計画マスタープラン（素案）」を拝読しました。</p> <p>大変ご苦労さまです。</p> <p>「美しい都市」は、都市の姿である「環境」「経済」「生活」「文化」「安心・安全」の分野毎の政策が、個別にでなく、相互に互いに結び付けられ、総合的・有機的な一体性をもって実現されることにより、美しい「景観」づくりと相俟って、最終的には、真に「美しい都市・京都」が形成されるものと考えています。</p> <p>各組織・部署の方々がよく連携して「京都」のためにお励み下さい。</p>	1	1	1

受付 番号	お住 まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
70	伏見	<p>京都市が本当に「エネルギーを有効活用した低炭素型の都市」を目指しているのであれば、どの地域にリサイクル施設（産業廃棄物処理施設）の立地に建設できるかを、このマスタープランに記載すべきではないのか。</p> <p>産業廃棄物処理施設は地域から迷惑がられるため立地が難しい。また、それに加えて工業専用地域といった本来都市計画で立地を誘導すべきところでも、都市計画審議会で反対意見が出たということを知った。これでは、リサイクルを推進しようとする我々企業はどうすれば良いのか？</p> <p>地域まちづくり構想により地元から産廃施設は受け入れられないと言われれば、工業地域でも立地が認められないということになるのか？これでは、環境都市である京都市内では、リサイクルができないことになる。</p>	9	1 1	1
71	北	<p>いつもお仕事お疲れ様です。私は介護保険のケアマネジャーの立場からマスタープランに賛成します。その中でも特に「歩くまち・京都」のコンセプトは積極的に推進をお願いするものです。</p> <p>私は仕事柄、多くの要介護の方と接してきましたがこれまでの生活習慣、たとえば喫煙、過度の飲酒、運動不足などから病気になり、要介護者になられた方が本当に多いです。</p> <p>「歩くまち・京都」はマイカーにあまり頼らず、積極的に歩き、市バス、地下鉄等公共交通機関を利用することで、健康寿命を維持し、介護・医療の費用も下げ、京都市の財政を健全化させていく上で大事な要素であると考えます。</p> <p>またこれに関連して、現在すでに実施されている禁煙区域も更なる拡大をお願いいたします。喫煙する場所がなくなることは、子供への火傷防止、火災予防、街の美化以外に吸わなくなって健康度が増すことも意味するからです。</p> <p>さらに「市バス・地下鉄増収増客プロジェクト」も介護・医療の費用を減らしていく点からも大いに応援していきたいです。私も毎回地下鉄四条駅の「燃え萌え」階段を歩きながら、笑い転がっています。考案した若手職員さんに『笑点』じゃないですが、座布団10枚あげてください。</p> <p>私も京都へ出てきて29年たちますが、市バスの中から見える京都の町並みはやはり味わい深いものがあります。これはマイカーみたいにピンポイントでは絶対に味わえません。私の田舎の連中には毎回、観光にはバス、地下鉄の利用を勧めています。</p>	1	1	1

受付番号	お住まい	御意見	「市民の皆様からの主な御意見と御意見に対する考え方」該当箇所		
			ページ	分類	番号
		これからも健康で元気な街を維持していく観点からも「歩くまち京都」「コンパクトな街づくり」を応援していきたいと思えます。頑張ってください。			